

森からはじまる物語

—森へのイメージをめぐる3つのまなざし—



10月24日(土)～12月6日(日)
アートコアミュージアム-1、ギャラリー、野外



眞壁陸二氏野外作品の滞在制作風景(宿泊棟・アトリエ)



本展はアーティストの滞在制作が大きな特徴です。宿泊棟とアトリエを活用して、創作の森の豊かな自然の中で、土地に根差した作品制作を行っています。

森は昔から童話や神話の舞台として描かれ、私たちにさまざまなイメージを与えてくれる芸術・物語の源です。その森を構成する動植物などを題材とし「神話の世界」、「生命の痕跡」、「野生の記憶」をそれぞれモチーフに活動する眞壁陸二、佐々木愛、角文平の北陸ゆかりの作家3人に焦点を当てた展覧会を開催します。

風土の持つイメージを作品にすることで注目を集める3人のアーティストが、自然との関わりを表現し、限りないイメージを秘めた森を見つめ、森からはじまる新たな物語を紡ぎ出します。

時間 10:00～17:00 (最終入場 16:30)

※土曜日は18:00まで開館延長 (最終入場 17:30)

休館日 月曜日 ※11月23日(月・祝)開館、24日(火)休館

観覧料 一般600円(500円)、高校生以下無料、

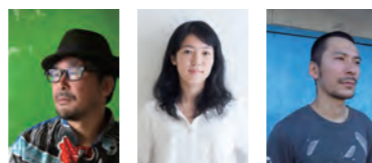
障がい者および65歳以上300円

※()は20人以上の団体料金

※11月14日(土)、15日(日)は関西文化の日(観覧無料)

関連イベント アーティストトーク

眞壁陸二 (画家)
×
佐々木愛 (現代美術作家)
×
角文平 (彫刻家)



10月24日(土)
11:00～12:00
アートコアミュージアム-1
※ 定員50人・要観覧券



「KANAZAWARA号」発進!

◆9月19日(土) 市内～金沢



金沢・あわら間無料バス「KANAZAWARA号」の出発式を行いました。芦原こども園の園児12人が運転手に「安全に運転してください」と花束を渡し、女将の会と園児たちが手を振ってバスを見送りました。「ちはやふる」やあわらの観光スポットが車体にラッピングされたバスが北陸自動車道や金沢市内を走り、注目を浴びていました。

大先輩たちと記念演奏

◆9月20日(日) 金津中学校



金津中学校でサマーコンサートが開催されました。50回となる今年を記念して卒業生を招き、現役部員との合同演奏を披露。さまざまな年代の部員による迫力あるサウンドが会場に響き渡りました。

卒業生たちは、当時の仲間と再会し、懐かしさを感じながら、母校で再び演奏できることを喜んでいるようでした。

まちかど graffiti では、広報係が取材した“あわらの話題”をお届けします!



ご長寿おめでとうございます

◆9月16日(水) 北潟



橋本市長が今年100歳を迎える高齢者のお宅を訪問し、お祝いの記念品を贈りました。北潟の田中義治さん宅では、田中さんがお元気な様子で「今まで大きな病気をしたことがない」と市長に話され、記念品と賞状が贈られたことをとても喜んでいました。本年度は、市内で6人が100歳を迎えます。

学校に感謝の気持ちを込めて

◆9月20日(日) 波松小学校



来年4月に北潟小学校に統合される波松小学校で最後の運動会が開かれました。運動会の後、記念セレモニーを開催。児童や地域住民など約200人が参加し、学校での思い出を振り返りながら全員で「波松小」の人文字を作って記念撮影をしたり、学校への感謝の気持ちを込めて約400個の風船を一緒に飛ばしたりと、最後の思い出作りをしました。